

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和6年8月30日

埼玉県鉱工業指数（令和6年6月分、第2四半期分）

-令和6年6月分は生産が2か月ぶりの「低下」-

鉱工業指数は景気や経済の動きを把握することを目的としており、製造業の事業所における活動状況を表すものです。

景気の動きに敏感で、速報性があるため足下の景気動向を判断する指標の1つとなります。

1 令和6年6月分

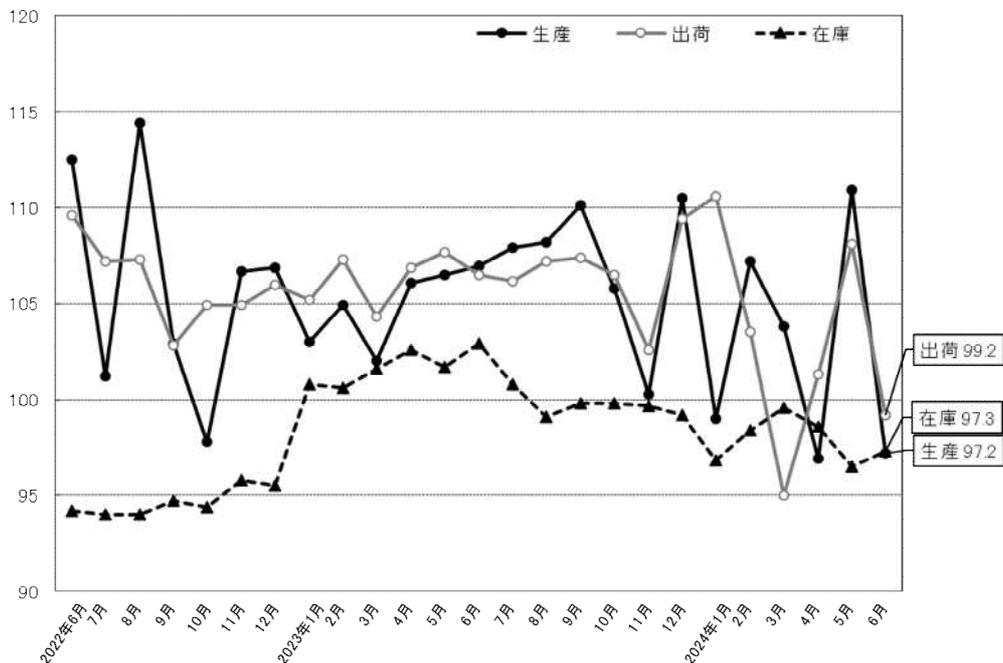
生産は2か月ぶりの低下、出荷は3か月ぶりの低下

(1) 概要

令和6年6月の埼玉県鉱工業指数について、生産は化学工業、生産用機械工業などの低下により2か月ぶりの低下となりました。出荷は生産用機械工業、化学工業などの低下により3か月ぶりの低下となりました。在庫は3か月ぶりの上昇、在庫率は2か月ぶりの低下となっています。

(2020年=100)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
生産	97.2	-12.4	-10.0
出荷	99.2	-8.2	-8.0
在庫	97.3	0.8	-5.4
在庫率	250.7	-27.5	109.8



(2) 寄与した主な業種・品目（生産・出荷23業種）

< 生産 >

		主な業種	前月比 (%)	主な品目
上昇	4業種	輸送機械工業	20.6	航空機用部品
		食料品工業	0.8	アイスクリーム
低下	19業種	化学工業	-41.9	医薬品
		生産用機械工業	-65.0	半導体製造装置

< 出荷 >

		主な業種	前月比 (%)	主な品目
上昇	5業種	食料品工業	3.3	アイスクリーム
		繊維工業	33.9	織物製繊維製品(外衣)
低下	18業種	生産用機械工業	-60.1	半導体製造装置
		化学工業	-9.1	医薬品

2 令和6年第2四半期分

生産は3期連続の低下、出荷は4期連続の低下

(1) 概要

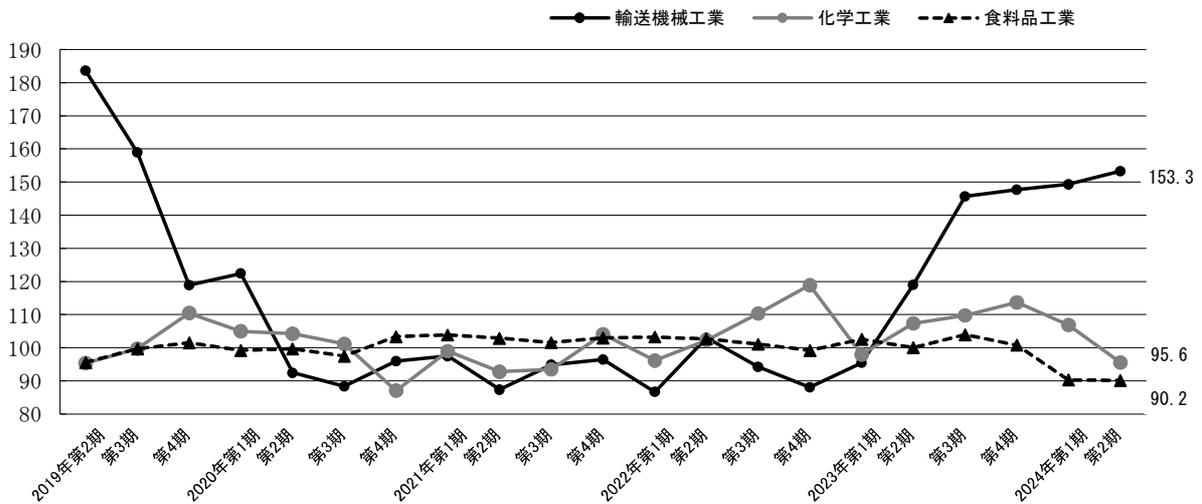
令和6年第2四半期（令和6年4月～令和6年6月期）の生産指数は、化学工業、プラスチック製品工業などの低下により3期連続の低下となりました。出荷指数は、化学工業、輸送機械工業などの低下により4期連続の低下となりました。在庫指数は2期ぶりの低下、在庫率指数は2期ぶりの上昇となっています。

(2020年=100)

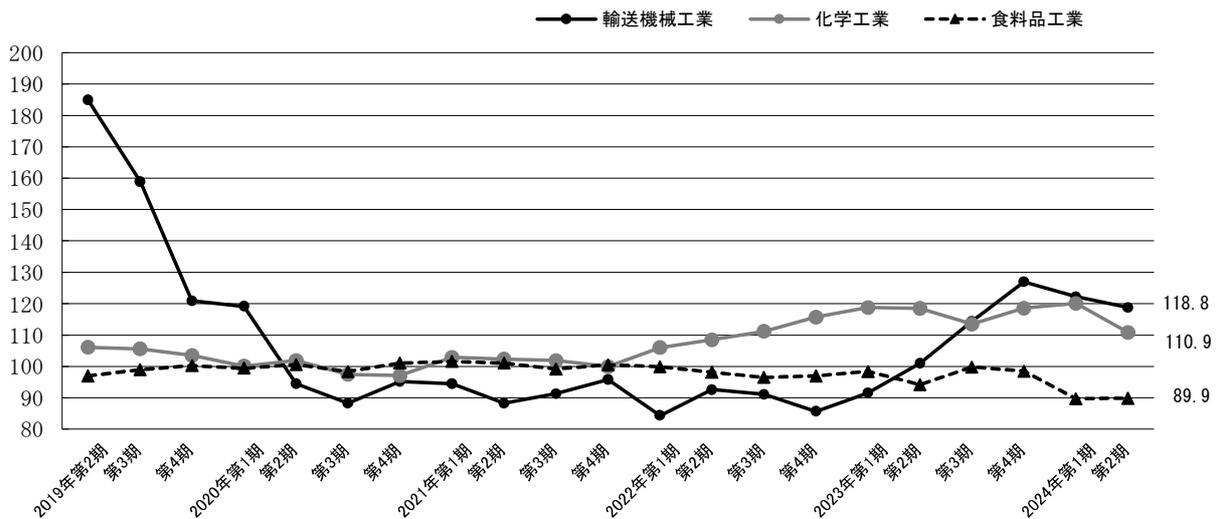
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	101.7	-1.5	-5.0
出荷	102.9	-0.1	-4.1
在庫	97.3	-2.3	-5.4
在庫率	242.0	101.5	110.8

県内主要業種の指数推移

生産



出荷



(2) 寄与した主な業種・品目（生産・出荷 23 業種）

＜生産＞ 上昇・16業種、低下・7業種

医薬品などを含む化学工業、プラスチック製容器などを含むプラスチック製品工業など7業種で低下しました。

一方で、医療用機械器具などを含む業務用機械工業、懸架制動装置部品などを含む輸送機械工業などの業種で上昇しました。

＜出荷＞ 上昇・16業種、低下・7業種

医薬品などを含む化学工業、乗用車などを含む輸送機械工業など7業種で低下しました。

一方で、精密測定機などを含む業務用機械工業、金銭登録機（端末機能付）などを含む情報通信機械工業などの業種で上昇しました。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県鉱工業指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a099/index.html>